

福祉常任委員会懇談会報告書

- 1 開催日時
平成28年11月15日（火）10時から
- 2 会場
市役所4階第1委員会室
- 3 テーマ
本市における民生委員児童委員の活動の現状について
- 4 出席者
 - (1) 八千代市民生委員児童委員協議会連合会
連合会長，副会長，理事，主任児童委員部会副部長
 - (2) 八千代市議会福祉常任委員会
委員長 木下映実 副委員長 林 隆文
委員 嵐 芳隆 委員 末永 隆
委員 堀口明子 委員 三田 登

5 開催の趣旨

本委員会は、日々地域の住民宅への訪問活動等を通して、八千代市の地域福祉に多大なる貢献をしている民生委員児童委員（以下「民生委員」という。）の活動について理解を深める目的で、八千代市民生委員児童委員協議会連合会（以下「連合会」という。）の連合会長を初め、同会の役員等を招き、「本市における民生委員児童委員の活動の現状について」をテーマに懇談会を実施した。

6 懇談会の経過

会の冒頭、各出席者の自己紹介を行った後、連合会連合会長より民生委員、主任児童委員及び連合会の活動概要について説明がなされ、その後、意見交換を実施した。

意見交換では、本委員会委員から、民生委員が実施している「災害時一人も見逃さない運動」と市の「八千代市災害時要配慮者支援基本計画」との連携について質問がなされ、これに対し、以前は市との連携はなく民生委員のみで同



運動を実施していたが、平成 27 年度からは、災害時に支援が必要な方の登録時には市の様式を使用する等、運用を見直して実施している。このため、現在では、市、民生委員、自治会、自主防災組織等において、災害時に支援が必要な方の情報が共有されており、有事の際には連携して活動することとなる、との発言があった。

また、本委員会委員から活動をするうえで苦勞していることについて質問がなされ、これに対し、「民生委員のやっていることは大変だ」といった印象を住民に持たれているため、民生委員を引き受けていただける方が少なく、任期満了による一斉改選の時期等は、後任者を探すのに苦勞している、との発言があった。さらに、多くの役員の方からは、人材育成に必要な研修費用や民生委員活動の周知等にかかる費用の工面に苦慮している、補助金をいただくのが例年 7 月であるため、それまでの活動費用は連合会で立てかえているため負担となっている、との意見があった。

本会では、1 時間半にわたり民生委員の活動のほか、市政に関すること等について活発な意見交換が行われ、結びの挨拶として、本委員会委員長より、伺った意見を今後の委員会活動に生かしていきたいとの発言があり、本会は終了した。